

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課	20社会教育課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	17202	事務事業コード	2028
事務事業名	ジオパーク推進事業			開始年度	平成22	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し		
将来ビジョン	2. 観光等交流人口の拡大 (1)観光の振興					H25: 重点●政策○	○	
H26教育行政方針	【社会教育の推進】 3. 自然を守りトキと共生する 環境の島					H26: 重点●政策○	○	
H27教育行政方針	【社会教育の推進】 4. 歴史を学び後世に受け継ぐ 伝統文化の島					H27: 重点●政策○	○	
事業概要	○推進協議事業(推進協議会) 佐渡ジオパーク推進協議会において、構想・方向性・実施計画等の策定を行う。 ○市民等啓発普及運営事業 市民講座をはじめ、各種研修や集落・団体からの要請に応じて裾野を広げる。 ○講演会・シンポジウム 先進地の担当者や見識者らによる講演やシンポジウム ○普及資料作成事業 市民や観光客に理解してもらうガイドブックやリーフレット等の作成。 ○推進情報交換事業 ジオパークの全国大会や研修会などに参加し、推進のための情報交換を行う。 ○拠点(ジオサイト)整備事業 ジオツーリズムのための見学地整備。案内看板、道標、見学地整備等。 ○拠点施設整備事業 佐渡のジオパークを総括する拠点施設の整備事業。 ○調査研究事業 自然・地質等、市内にある資産の調査及び研究。							
対象	市民、国内外の観光客等							
意図(対象をどのようにしたいか)	佐渡の地形・地質等の自然遺産を市民に理解してもらい、ジオパーク認定を目指すとともに、各方面で利活用し交流人口の拡大につなげる。							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	参加者数	人	4109	4500	3805	4700	4900	5000
算式	ジオパーク推進事業への参加者数							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	庶務管理経費			199	263		303	予算	維持	
	指標	-	-	-	-	-	-	事業	維持	
2	市民等啓発普及運営事業			2,579	1,802		2,078	予算	維持	○
	指標	参加者(延べ人数)	人	3939	4000	4250	4200	事業	維持	
3	講演会・シンポジウム			0	0		0	予算	維持	
	指標	参加者数	人	170	500	450	500	事業	維持	
4	普及資料作成事業			1,308	500		652	予算	増額	
	指標	作成件数	件	5	5	1	4	事業	拡充	
5	推進情報交換事業			1,819	1,200		1,709	予算	維持	
	指標	参加数	人	54	60	63	70	事業	維持	
6	拠点(ジオサイト)整備事業			20	1,776		108	予算	増額	○
	指標	整備件数	件	2	1	1	3	事業	拡充	
7	拠点施設整備事業			273	0		0	予算	増額	
	指標	整備件数	件	1	-	-	0	事業	拡充	
8	調査研究事業			3,559	460		4,871	予算	減額	
	指標	調査件数	件	6	30	3	20	事業	維持	
9	協議会推進協議事業			7,194	8,000		7,937	予算	増額	◎
	指標	会議開催数	人	8	12	12	20	事業	拡充	
事業費の合計(千円)				16,951	14,001		17,658			
財源内訳	国庫支出金				0		2,121			
	県支出金				0		0			
	地方債			9,300	0		0			
	その他			277	392		5,681			
	一般財源			7,374	13,609		9,856			

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A : 適正である B : 検討の余地あり C : 見直しすべき
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	庶務管理経費	B	B	A	印刷関連経費の節減に努める。
2	市民等啓発普及運営事業	B	B	A	ジオパークの市民認知度がまだ弱い。ジオパークガイドの力も借りながら、市民への普及に努める。
3	講演会・シンポジウム	B	A	A	3資産連携による初めての講演会を開催できたが、内容的に難しい部分があった。市民に親しまれるテーマから更に連携を強化し、3資産の普及に努める。
4	普及資料作成事業	B	B	A	市民・見学者が理解・利用しやすい資料の作成に努める。
5	推進情報交換事業	B	B	A	全国大会等に市民・関係団体とともに参加してきたが、さらに交流を盛んにしながら、佐渡ジオパークのアピールに努める必要がある。
6	拠点(ジオサイト)整備事業	B	B	A	市民・見学者にとって、親しみやすいジオサイトの整備に努める。
7	拠点施設整備事業	B	B	A	佐渡学センターや観光案内所との連携による拠点施設の整備に努める。
8	調査研究事業	B	B	A	調査研究成果がジオサイトの正しい理解につながるよう努力する。
9	協議会推進協議事業	B	B	A	協議会関係団体との連携による各業務の推進に取り組む。

Action		◆今後の事務事業の方向性◆			
評価(担当課長)	事業の方向性	拡充	予算の方向性	増額	
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	市民への普及と地域振興・観光活用を図るため、人員配置も含め、見直しが必要。庁内連携によるツアー開発・ジオ商品開発、ジオパークを活用した地場製品の開発等。調査研究・教育普及体制の充実。				